

## 研究業績書

対象期間	2016年1月1日～2017年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部	講師	青柳 憲昌

著書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
『日本の建築意匠』	共著	2016年12月	学芸出版	編著：平尾和洋・青柳憲昌・山本直彦	

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
鉄筋コンクリート造による平安王朝美の再現—吉田五十八の五島美術館にみる“平安調”の建築意匠	単著	2016年2月	『LIXIL eye』第10号	青柳憲昌	22-23
朽木谷河川流域茅葺民家の現状調査と諸特性分析 その2 —防火意匠の現状調査と今後の対策—	共著	2016年6月	日本建築学会近畿支部研究報告集 計画系	遠藤直久・酒井理恵・平尾和洋・青柳憲昌・小西佐枝	273-276
朽木谷河川流域茅葺民家の現状調査と諸特性分析 その1 —主屋規模の定量分析と妻入・平入分布域に関する考察—	共著	2016年6月	日本建築学会近畿支部研究報告集 計画系	杉森大起・酒井理恵・遠藤直久・平尾和洋・青柳憲昌・小西佐枝	269-272
江戸時代末期から明治・大正時代にかけての高山町家の平面形式の変化	共著	2016年6月	日本建築学会近畿支部研究報告集 計画系	山路ゆり・青柳憲昌・小西佐枝・平尾和洋	649-652
高山における町家（商家）の近代化の一側面 —鍋島家住宅・長瀬家住宅の建築史調査報告	共著	2016年6月	日本建築学会近畿支部研究報告集 計画系	青柳憲昌・山路ゆり・平尾和洋	645-648
三大神社本殿の建設年と意匠的特徴	共著	2016年8月	日本建築学会大会学術講演集梗概集	小西佐枝・青柳憲昌	581-582

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
「草津市内に残る歴史的建造物の実態調査」	共著	2016年12月	環びわ湖大学・地域コンソーシアム・大学地域交流フェスタ2016	小西佐枝・青柳憲昌・及川清昭・草津市教育委員会文化財保護課

## 研究業績書

対象期間	2016年1月1日～2017年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部	教授	泉 知論

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
Recognition of Oracular Bone Inscriptions Using Template Matching	共著	2016年2月	Int. J. of Computer Theory and Engineering (8巻1号)	Lin Meng, Yoshiyuki Fujikawa, Atsushi Ochiai, Tomonori Izumi, Katsuhiko Yamazaki	53-57

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
Java ベース高位合成によるゲーム木再帰探索のハードウェア化の試行	共著	2016年3月	第3回人工知能とハードウェア・ソフトウェア協調設計ワークショップ	広江友哉, 大野真史, 泉知論
JAVA ベース高位合成系 Synthesizer による○×ゲーム探索再帰記述のハードウェア化	共著	2016年9月	電子情報通信学会 技術研究報告, Vol.116, No.210, RECONF 2016-28, pp.19-22	広江友哉, 大野真史, 泉知論, 孟林
Vivado HLS による○×ゲーム探索再帰記述のハードウェア化	共著	2016年11月	電子情報通信学会 技術研究報告, Vol.116, No.332, RECONF 2016-44, pp.25-28	広江友哉, 大野真史, 泉知論, 孟林
高速カメラを用いた可視光通信のための光源追跡モジュールの並列化の検討	共著	2017年1月	電子情報通信学会 技術研究報告, Vol.116, No.417, VLD2016-73, CPSY2016-109, RECONF 2016-54, pp.19-23	中原優, 泉知論, 孟林, 白木善史, 鎌本優, 守谷健弘

## 研究業績書

対象期間	2016年1月1日～2017年3月31日	
所属	職名	氏名
衣笠総合研究機構	准教授	板谷(牛谷) 直子

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
Introduction the Context of Historic City of Kyoto	単	2016年9月	International Training Course (ITC) on Disaster Risk Management of Cultural Heritage 2016	Naoko ITAYA
Lesson from post disaster recovery of Cultural heritage In case of Minami-Sanriku-Cho, Miyagi Prefecture	単	2016年9月	International Training Course (ITC) on Disaster Risk Management of Cultural Heritage 2016	Naoko ITAYA

その他研究活動			
研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間(西暦可)
歴史文化都市と災害の「記憶地図」・宮城県南三陸町	共同	宮城県南三陸町	2016年4月～2017年3月
歴史文化都市と災害の「記憶地図」・仁和寺門前	共同	仁和寺門前まちづくり協議会	2016年4月～2017年3月

## 研究業績書

対象期間	2016年1月1日～2017年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部	教授	伊津野 和行

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
地震応答の局所定常ARモデルに基づく木質構造の損傷検出	共同	2016年5月	第19回応用力学シンポジウム	野村泰稔・山際渚・伊津野和行
地震応答評価に基づく構造ヘルスマニタリング技術の基礎的研究	共同	2016年6月	平成28年度土木学会関西支部年次学術講演会	山際渚・野村泰稔・伊津野和行
通潤橋の地震応答特性に関する研究	共同	2016年10月	第36回地震工学研究発表会	伊津野和行・石田優子・藤本将光・深川良一

その他研究活動			
研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間（西暦可）
熊本地震による通潤橋の被害と地震応答特性	単独	立命館大学防災フロンティア研究会, 2016年度第2回セミナー, 京都タワーホテル, 京都市	2016年10月28日
美しい橋, 強い橋	単独	防災カフェ, 滋賀県危機管理センター, 大津市, 滋賀県	2016年11月10日

## 研究業績書

対象期間	2016年1月1日～2017年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部	教授	大窪 健之

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
Traditional Wisdom for Disaster Mitigation in History of Japanese Architectures and Historic Cities	単著	2016年5月	Journal of Cultural Heritage	Takeyuki Okubo	
歴史的な町並み保存のための建築規制緩和に対する災害対策の研究～神戸市北野町山本通重要伝統的建造物群保存地区を対象として～	共著	2016年7月	歴史都市防災論文集 (10巻)	金度源, 大窪健之, 林倫子, 塩田一貴	129-136
防災活動への合意形成を目指した住民ワークショップ手法に関する研究～京都府与謝野町加悦重伝建地区を対象として～	共著	2016年7月	歴史都市防災論文集 (10巻)	宮田雄大, 大窪健之, 金度源, 林倫子	137-144
阪神・淡路大震災における社寺の延焼抑止要因と避難地利用に関する調査研究～兵庫県神戸市の社寺を対象として～	共著	2016年7月	歴史都市防災論文集 (10巻)	国島岳大, 大窪健之, 金度源, 林倫子	153-160
効率的なノズル開発に向けた散水挙動の理論的考察～延焼火災から歴史的な木造密集市街地を守る街路壁面散水設備(WSS)の開発～	共著	2016年7月	歴史都市防災論文集 (10巻)	榎原拓大, 大窪健之, 金度源, 林倫子	91-98
災害情報を即時共有する地域防災情報システムの機能拡張と地域特性に着目した配信方法の検討～与謝野町加悦重伝建地区を対象として～	共著	2016年7月	歴史都市防災論文集 (10巻)	大窪健之, 岩井渉, 金度源, 林倫子	179-186
2015年ゴルカ地震における伝統的中庭空間の避難時の利用実態－世界遺産カトマンズ・バタン地区を対象に－		2016年7月	歴史都市防災論文集 (10巻)	高杉三四郎, 大窪健之, サ キャラタ, 金度源, 林倫子	195-202
Proposal on utilization of historic water resources and open spaces in Rome for disaster risk management with lessons learned from Nepal Gorkha earthquake	単著	2016年10月	International Conference "Florence 1966-2016" Resilience of Art Cities to Natural Catastrophes: The Role of Academies, (Online Publishing), Accademia Nazionale Dei Lincei (Rome, Italy)	Takeyuki Okubo	
Research on Temporal Shelters Using Cultural Heritage Sites such as Local Temples and Shrines in the case of The Great East Japan Earthquake	共著	2016年10月	ICOMOS International Scientific Symposium "Post-Disaster Reconstruction" (Istanbul, Turkey), (Online Publishing)	Takeyuki Okubo, Michiko Hayashi and Dowon Kim	

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
「熊本地震緊急調査」	共著	2016年5月	熊本県	大窪健之（団長）ほか 歴史都市防災研究所有志
「松山城防災整備調査」	単著	2016年5月	愛媛県	大窪健之
「松本城防災整備検討のための調査」	単著	2016年6月	長野県	大窪健之
Importance of historic elements as courtyards, narrow paths and water places for rehabilitation towards safe and historical environment in Kathmandu,	共著	2016年2月	A Workshop Series on the Post-Earthquake Recovery of Cultural Heritage in Nepal, Kathmandu (DoA) Nepal	Takeyuki Okubo and DoWon Kim

その他研究活動				
研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間（西暦可）	
日本学術会議連携委員	単独		2016年8月～11月	
福井県若狭町・萩野家住宅保存活用計画検討委員	単独		2016年9月～2017年3月	
日本学術会議連携委員	単独		2016年12月～2017年4月	
清水寺周辺地域における歴史防災まちづくりのための特殊講義（夏期集中講義）	共同		2016年9月18日～21日	
招待講演：「地域を守る文化遺産の防災拠点化～歴史を活かす防災対策について～」、第2回「東本願寺と環境を考える市民プロジェクト」勉強会、	単独	東本願寺	2016年1月21日	
講演（Takeyuki Okubo and Dowon Kim）：“Importance of historic elements as courtyards, narrow paths and water places for rehabilitation towards safe and historical environments in Kathmandu,	単独	A Workshop Series on the Post-Earthquake Recovery of Cultural Heritage in Nepal”, Kathmandu, Nepal	2016年2月22日～26日	
招待講演：「The Importance of Cultural Heritage Conservation in Understanding Cultural Diversity and Wisdom -Traditional Disaster Mitigation Measures from Japanese Historic Cities-」	単独	The 2nd SEAMEO Youth Leadership Forum, Holiday Inn Bangkok, タイ（バンコック）	2016年3月10日	
研修講師：「防災の日常化～市民用消火栓とコミュニティ活動」	共同	平成27年度・東山区防災研修会（つながらる防災コミュニティ事業）、東山区役所	2016年3月15日	
研修講師：「参加型技術講演会」、NPO法人あすの夢土木	共同	国土交通省近畿地方整備局京都国道事務所	2016年7月5日	
研修講師：「歴史と文化を災害から守るために」	共同	滋賀県防災科学研修、滋賀県危機管理センター	2016年7月6日	
研修講師：「Joint Workshop for Global Engineering」	共同	タイ・モンクット王工科大学（KMUTT）	2016年7月26日～27日	
招待講演：「災害多発地域における建築物の保存・再生を通じたまちづくり」、シンポジウム・災害多発地域における建造物の保存・再生－＜ジレンマ＞を超えて	単独	日本建築学会創立130周年記念事業・建築文化週間2016、せんだいメディアテーク	2016年10月29日	
招待講演：「身近な災害：関西で起こりうる災害と文化財の被害－直下型地震とこれに伴う都市火災の危険性とその対策事例－」	単独	講演会・文化財を災害から守る2「今、そこにある危機－関西地域の災害と文化財」、けいはんなオープンイノベーションセンター	2016年11月12日	

その他研究活動			
研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間（西暦可）
招待講演：「重要伝建地区・吉良川町における防災まちづくり活動～住民ワークショップから地区防災計画の提案へ～」	単独	平成28年度高知ヘリテージマネージャー・サポーター養成講座、@ふくし交流プラザ（高知県）	2016年12月10日

知的財産権						
名称	出願人区分	発明人区分	出願番号	公開番号	登録（特許）番号	国
消火用ノズル				特願 2016 - 058903		日本
消火用ノズル				特願 2016-206815		日本

## 研究業績書

対象期間	2016年1月1日～2017年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部	准教授	岡井 有佳

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
歩行環境向上のための方策に関する一考察：富山県黒部市宇奈月温泉を事例として	共著	2016年6月	地域生活学研究(7巻)	岡井有佳・鈴木浩太郎・折本大輝・板谷和也	21-29
京都市中心部における細街路に接する敷地後退部分の利用実態	共著	2016年7月	歴史都市防災論文集(10巻)	折本大輝・岡井有佳・小池貴大・吉田隼斗	123-128
世界遺産のバッファゾーンにおける景観整備に関する研究 京都市西芳寺を事例として	共著	2016年8月	2016年度大会学術講演梗概集(都市計画)	川道大輔・山崎正史・岡井有佳	991-992
京町家の保全・再生に向けた取り組みの効果と課題～京町家まちづくりファンドを事例として	共著	2016年8月	2016年度大会学術講演梗概集(都市計画)	斎藤満里奈・岡井有佳	843-844

## 研究業績書

対象期間	2016年1月1日～2017年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部	准教授	小川 圭一

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
歴史都市における指定避難所を経由した 広域避難場所への効果的な避難経路に関 する研究	共著	2016年7月	歴史都市防災論文集 Vol.10	小川圭一, 藤井勇希, 塚口博司, 安隆浩	161-166

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
歴史都市における指定避難所を経由した 広域避難場所への効果的な避難経路に関 する研究	共著	2016年7月	第10回歴史都市防災シンポジ ウム	小川圭一, 藤井勇希, 塚口博 司, 安隆浩

## 研究業績書

対象期間	2016年1月1日～2017年3月31日	
所属	職名	氏名
文学部	教授	片平 博文

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
平安京周辺の条里と地名－広隆寺付近の葛野郡条里を事例として－		2016年12月	糸井通浩・網本逸雄編『地名が語る京都の歴史』、東京堂出版、所収	片平博文	44-62
12～13世紀における平安京北辺の風景とその変化－西洞院川と小川(こかわ)との関係－		2017年1月	立命館文学649	片平博文	113-133

## 研究業績書

対象期間	2016年4月1日～2017年2月1日	
所属	職名	氏名
政策科学部	教授	鐘ヶ江 秀彦

著書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
Simulation and Gaming in the Network Society, Kaneda Toshiyuki, Kanegae Hidehiko, Toyoda Yusuke and Rizzi Paola (Editors)	共編著	2016年8月	Springer, Translational Systems Sciences	Kaneda Toshiyuki, Kanegae Hidehiko, Toyoda Yusuke and Rizzi Paola (Editors)	Whole (1-474), 全編
"A Simulation of Economic Loss Impact and Recovery: A Case Study of Shima City Assuming Nankai Trough Earthquake", Simulation and Gaming in the Network Society	共編著	2016年8月	Springer	Mingji Cui, Hitoshi Taniguchi, Yusuke Toyoda and Hidehiko Kanegae (Authors) Kaneda Toshiyuki, Kanegae Hidehiko, Toyoda Yusuke and Rizzi Paola (Editors)	339-353

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
Effect of Disaster Information on Tourist Areas	共著	2016年5月	36th Annual Conference of the International Association for Impact Assessment	Kohei Sakai, Mingji Cui, Yusuke Toyoda, Hidehiko Kanegae
Residents recognition of local information supply	共著	2016年5月	36th Annual Conference of the International Association for Impact Assessment	Hiroari SHIMIZU, Kohei SAKAI, Ayaka HONDA, Hidehiko KANEGAE
The Basic Study on Regional Information Supply to Residents-the View and History of Kairanban; Notice for Circulation-	共著	2016年6月	14th PRSCO Summer Institute	Hiroari SHIMIZU, Hidehiko Kanegae
An Estimation Model of Regional Economic Damage Due to Earthquake & Tsunami Disaster	共著	2016年6月	14th PRSCO Summer Institute	Mingji Cui, Hitoshi Taniguchi, Yusuke Toyoda and Hidehiko Kanegae
A Study on Tourists' Awareness of Disaster Prevention Toward Regional Disaster Prevention Plans Considering Tourists	共著	2016年6月	14th PRSCO Summer Institute	Kohei Sakai, Mingji Cui, Yusuke Toyoda, Hidehiko Kanegae
回覧板の現代的な活用方法-コミュニティ政策下における位置付け-	共著	2016年9月	第39回日本計画行政学会全国大会	清水泰有、小野聡、鐘ヶ江秀彦
過去の被害事例に基づく歴史観光都市の経済的影響の定量評価分析	共著	2016年10月	日本地域学会第53回年次大会	崔明姫、豊田祐輔、鐘ヶ江秀彦

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
Analysis on Tourists' Behavior in Historic City after Disaster	共著	2016年10月	The 4th International Conference on Urban Disaster Reduction: Sustainable Disaster Recovery: Addressing Risks and Uncertainty”	Mingji Cui, Yusuke Toyoda and Hidehiko Kanegae

受賞学術賞			
授与機関名	受賞名	タイトル	受賞年月（西暦可）
公益財団法人 科学技術融合振興財団 平成27年度 第9回 FOST 賞受賞	公益財団法人 科学技術融合振興財団 平成27年度 第9回 FOST 賞	ISAGA サマースクールを通じたゲーミング・シミュレーション開発スキルの学習方法に関する研究	2016年3月
国際シミュレーション&ゲーミング学会	第47回国際シミュレーション&ゲーミング学会世界年次大会2016最優秀論文賞	A Study on Gaming Simulation as a Key of Meta-frame of Planning for Neighbourhood Immigrant Integration and Co-existing Diversity	2016年9月

## 研究業績書

対象期間	2016年1月1日～2017年3月31日	
所属	職名	氏名
情報理工学部	教授	川合 誠

研究発表等				
発表題名	単著・ 共著の別	発行または 発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
無線センサーネットワークにおける測位 技術	単著	2016年1月	2015年度次世代ワイヤレス通 信技術講座	川合誠

## 研究業績書

対象期間	2016年1月1日～2017年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部	准教授	川崎 佑磨

著書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
Innovative AE and NDT Techniques for On-Site Measurement of Concrete and Masonry Structures	共著	2016年6月	Springer	Yuma Kawasaki, Yuichi Tomoda and Masayasu Ohtsu	133-156

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
大規模災害時における敦賀市周辺の広域避難シミュレーション	共著	2016年5月	材料学会信頼性工学特集号 (65巻5号)	福田健太・野村泰稔・川崎佑磨・伊津野和行	391-396
RI法を援用したポーラスコンクリートの空隙率算定方法の提案	共著	2016年7月	コンクリート工学年次論文集 (38巻1号)	安部良介、中新弥、川崎佑磨、岡本享久	1731-1736
乾湿繰返しを受けるポーラスコンクリートの化学的分析に基づく基礎的研究	共著	2016年7月	コンクリート工学年次論文集 (38巻1号)	川崎佑磨、新大軌、吉田貴保、岡本享久	1737-1742

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
Monitoring of Acoustic Emission on Corroded RC Beam due to Chloride Induced Corrosion	共著	2016年1月	ICEIT-2016	Yuma Kawasaki, Takuo Gonno, Kazuyuki Izuno
Basic Study on Efflorescence affected in Environmental Conditions of Porous Concrete Pavement	共著	2016年1月	ICEIT-2016	Hiroyuki Matsushita, Masaki Terashima, Yuma Kawasaki, Daiki Atarashi, Takayasu Yoshida and Takahisa Okamoto
RI計器を用いたポーラスコンクリートの空隙率評価に関する研究	共著	2016年5月	第70回セメント技術大会	中新弥、安部良介、川崎佑磨、岡本享久
乾湿繰返し環境におけるポーラスコンクリートからの溶脱に関する化学的分析	共著	2016年5月	第70回セメント技術大会	川崎佑磨、新大軌、吉田貴保、岡本享久
Proposal on Porosity Estimation Method of Porous Concrete by using Radioisotope	共著	2016年8月	2016ISEAS	Ryosuke ABE, Yuma KAWASAKI, Takahisa OKAMOTO
Estimation of Corrosion Location on Steel using Acoustic Emission Technique	共著	2016年8月	2016ISEAS	Akira Matsumoto, Yuma kawasaki
Evaluation of Delamination between Concrete and Steel Jacket by Elastic Wave Method	共著	2016年8月	2016ISEAS	Hiroataka Sakurai, Yuma Kawasaki

受賞学術賞			
授与機関名	受賞名	タイトル	受賞年月（西暦可）
(社) 土木学会	吉田研究奨励賞		2016年6月
(社) 日本非破壊検査協会	睦賞		2016年6月

## 研究業績書

対象期間	2016年1月1日～2017年3月31日	
所属	職名	氏名
文学部	准教授	河角 直美

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
近代期における大津の水辺空間の変遷と観光開発	共著	2016年	立命館文学(645号)	赤石(河角)直美・河角龍典	246-235

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
近代京都における市街地南部の拡張過程	共著	2016年8月	2016年度日本建築学会大会 学術講演会	中村莉乃・小畑紗良・河角直美・大場修

その他研究活動			
研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間(西暦可)
地域の安全・安心マップコンテスト	共同	2010年度防災教育交流フォーラム	2010年～
近代京都の景観と街並みを再現する―「京都市明細図」のデジタル化から	単独	立命館土曜講座『日本文化デジタル・ヒューマニティーズの新たな展開』(第2983回)	2011年～
「京都市明細図」に描かれた近代京都の街並み	単独	立命館土曜講座『昭和京都の景観を読む』(第3114回)	2014年～

## 研究業績書

対象期間	2016年1月1日～2017年3月31日	
所属	職名	氏名
衣笠総合研究機構	准教授	金 度源

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
歴史的な町並み保存のための建築規制緩和に対する災害対策の研究－神戸市北野町山本通重要伝統的建造物群保存地区を対象として－	共著	2016年7月	歴史都市防災論文集 (10巻)	金度源・大窪健之・林倫子・塩田一貴	129-136
Revitalization and Community Engagement: Otsu, Japan	単著	2016年10月	DRONAH Journal of the Development and Research Organisation for Nature, Arts and Heritage, Context Volume XII 2016, a Special Issue on 'Asia and Urban Heritage'	Dowon KIM	51-56
効率的なノズル開発に向けた散水挙動の理論的考察：延焼火災から歴史的な木造密集市街地を守る街路壁面散水設備(WSS)の開発	共著	2016年7月	歴史都市防災論文集 (10巻)	榎原拓大・大窪健之・金度源・林倫子	91-98
2015年ゴルカ地震における伝統的中庭空間の避難時の利用実態－世界遺産カトマンズ・バタン地区を対象に－	共著	2016年7月	歴史都市防災論文集 (10巻)	高杉三四郎・大窪健之・サキャラタ・金度源・林倫子	195-202
阪神・淡路大震災における社寺の延焼抑止要因と避難地利用に関する調査研究－兵庫県神戸市の社寺を対象として－	共著	2016年7月	歴史都市防災論文集 (10巻)	国島岳大・大窪健之・金度源・林倫子	153-160
防災活動への合意形成を目指した住民ワークショップ手法に関する研究：京都府与謝野町加悦重伝建地区を対象として	共著	2016年7月	歴史都市防災論文集 (10巻)	宮田雄大・大窪健之・金度源・林倫子	137-144
歴史的な町並み保存のための建築規制緩和に対する災害対策の研究－神戸市北野町山本通重要伝統的建造物群保存地区を対象として－	共著	2016年7月	歴史都市防災論文集 (10巻)	金度源・大窪健之・林倫子・塩田一貴	129-136
災害情報を即時共有する地域防災情報システムの機能拡張と地域特性に着目した配信方法の検討：与謝野町加悦重伝建地区を対象として	共著	2016年7月	歴史都市防災論文集 (10巻)	大窪健之・岩井渉・金度源・林倫子	179-186
Research on Temporary Shelters Using Cultural Heritage Sites Such as Local Temples and Shrines, Focusing on the Case of the Great East Japan Earthquake	共著	2016年10月	ICOMOS International Scientific Symposium Post-Disaster Reconstruction	Takeyuki OKUBO・Michiko HAYASHI・Dowon KIM	

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
歴史的な町並み保存のための建築規制緩和に対する災害対策の研究－神戸市北野町山本通重要伝統的建造物群保存地区を対象として－	共著	2016年7月	第10回歴史都市防災シンポジウム@立命館大学衣笠キャンパス	金度源・大窪健之・林倫子・塩田一貴
避難方法の選択が住民の避難行動の開始段階に及ぼす影響に関する研究	共著	2016年5月	平成28年度土木学会関西支部年次学術講演会	壺井克弥・林倫子・大窪健之・金度源
効率的なノズル開発に向けた散水挙動の理論的考察：延焼火災から歴史的な木造密集市街地を守る街路壁面散水設備(WSS)の開発	共著	2016年7月	第10回歴史都市防災シンポジウム@立命館大学衣笠キャンパス	栗原拓大・大窪健之・金度源・林倫子
2015年ゴルカ地震における伝統的中庭空間の避難時の利用実態－世界遺産カトマンズ・パタン地区を対象に－	共著	2016年7月	ICOMOS International Scientific Symposium Post-Disaster Reconstruction@Istanbul Turkey	Takeyuki OKUBO・Michiko HAYASHI・Dowon KIM
阪神・淡路大震災における社寺の延焼抑止要因と避難地利用に関する調査研究－兵庫県神戸市の社寺を対象として－	共著	2016年7月	第10回歴史都市防災シンポジウム@立命館大学衣笠キャンパス	高杉三四郎・大窪健之・サキヤラタ・金度源・林倫子
防災活動への合意形成を目指した住民ワークショップ手法に関する研究：京都府与謝野町加悦重伝建地区を対象として	共著	2016年7月	第10回歴史都市防災シンポジウム@立命館大学衣笠キャンパス	国島岳大・大窪健之・金度源・林倫子
歴史的な町並み保存のための建築規制緩和に対する災害対策の研究－神戸市北野町山本通重要伝統的建造物群保存地区を対象として－	共著	2016年7月	第10回歴史都市防災シンポジウム@立命館大学衣笠キャンパス	宮田雄大・大窪健之・金度源・林倫子
災害情報を即時共有する地域防災情報システムの機能拡張と地域特性に着目した配信方法の検討：与謝野町加悦重伝建地区を対象として	共著	2016年7月	第10回歴史都市防災シンポジウム@立命館大学衣笠キャンパス	大窪健之・岩井渉・金度源・林倫子

その他研究活動			
研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間（西暦可）
NPO 災害から文化財を守る会・技術部会幹事			平成20年～
歴史都市防災システム・機器開発研究会幹事			平成23年～
手づくりピコ発電水車プロジェクト	京都市立芸術大学高井研	京の七夕事業@堀川	平成20年～
東本願寺と環境を考える市民プロジェクト 防災部門委員		東本願寺	平成20年～
先斗町まちづくり協議会運営協力		先斗町まちづくり協議会	平成26年～
先斗町火災対策ネットワーク会議		京都市消防局	平成28年7～9月

## 研究業績書

対象期間	2016年1月1日～2017年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部	教授	里深 好文

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
大規模崩壊地を有する溪流における豪雨時の土砂流出と河床変動の実態—富士川水系早川の春木川を例に—	共著	2016年1月	砂防学会誌(68巻5号)	丹羽諭・内田太郎・蒲原潤一・守谷武史・光永健男・里深好文	21-31
Case study of debris flow disaster scenario caused by torrential rain on Kiyomizu-dera, Kyoto, Japan-using Hyper KANAKO system	共著	2016年2月	Journal of Mountain Science (13巻2号)	K. NAKATANI, S. Hayami, Y. SATOFUKA & T. MIZUYAMA	193-202
橋脚における木除杭及び芥留杭の機能に関する基礎的な実験	共著	2016年3月	土木学会論文集 B1(水工学) (72巻4号)	原田紹臣・内藤秀弥・里深好文・水山高久・小杉賢一朗	I_301-I_306
道路盛土横断排水構造物の高機能化に関する研究	共著	2016年3月	土木学会論文集 B1(水工学) (72巻4号)	原田紹臣・内藤秀弥・里深好文・水山高久・小杉賢一朗	I_871-I_876
粒径と流入流量が天然ダムの決壊過程と流出流量に及ぼす影響についての実験的研究	共著	2016年3月	砂防学会誌(68巻6号)	赤澤史顕・里深好文	42-46
天然ダムの形成条件や河道条件が決壊規模に及ぼす影響	共著	2016年3月	砂防学会誌(68巻6号)	中谷加奈・長谷川祐治・里深好文・水山高久	24-30
天然ダムの堆積高及び堆積長に関する簡易的な予測手法とその適用性	共著	2016年3月	砂防学会誌(68巻6号)	原田紹臣・小杉賢一朗・里深好文・水山高久	47-50
Debris Flow Simulation by Applying the Hyper KANAKO System for Water and Sediment Runoff from Overtopping Erosion of a Landslide Dam	共著	2016年6月	International Journal of Erosion Control Engineering(9巻2号)	Go YANAGISAKI, Masashi AONO, Hironori TAKENAKA, Masayuki TAMAMURA, Kana NAKATANI, Eiji IWANAMI, Shigeo HORIUCHI, Yoshifumi SATOFUKA, Takahisa MIZUYAMA	43-57
清水寺周辺溪流における土石流氾濫解析	共著	2016年7月	歴史都市防災論文集(第10巻)	縄手洋介・梶山敦司・藤本将光・里深好文	59-66
京都市東山地域における斜面崩壊の潜在的危険度評価	共著	2016年7月	歴史都市防災論文集(第10巻)	藤本将光・戸田堅一郎・有光悠紀・里深好文・深川良一	55-58
橋梁における歴史的な流木対策に関する研究	共著	2016年7月	歴史都市防災論文集(第10巻)	原田紹臣・里深好文	115-122
京都府亀岡市千歳町を対象とした土石流による影響範囲とソフト対策の検討	共著	2016年9月	自然災害科学(35巻特別号)	中谷加奈・天羽勝巳・藤本祥之・里深好文・藤田正治	65-77

## 研究業績書

対象期間	2016年1月1日～2017年3月31日	
所属	職名	氏名
衣笠総合研究機構	教授	鈴木 祥之

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
伝統的構法の楔の復元力特性に及ぼす効果	共著	2016年1月	日本地震工学会論文集 (第16巻第1号)	棚橋秀光、大岡優、鈴木祥之	170-183
蘇った加子母明治座一地芝居小屋の耐震改修に関する調査研究	共著	2016年3月	京都歴史災害研究(17号)	鈴木祥之、齋藤幸雄、向坊恭介、石黒恵之、佐藤英佑	23-32
柱の曲げを考慮した有開口土塗り壁の荷重-変形曲線推定に関する研究-礎石建て構法の土塗り壁に対する水平加力実験の結果とその推定-	共著	2016年6月	日本建築学会技術報告集(51号)	河原大、後藤正美、青木謙治、稲山正弘、鈴木祥之	505-510
繰り返し加力を受ける木材のめり込み復元力特性に関する実験的研究	共著	2016年6月	日本建築学会近畿支部研究報告集	白井悠吾、岩本いづみ、棚橋秀光、鈴木祥之	
伝統的構法通し貫仕口のめり込みの繰り返し復元力特性	共著	2016年7月	歴史都市防災論文集(Vol.10号)	棚橋秀光、大岡優、白井悠吾、岩本いづみ、鈴木祥之	15-22
かしも明治座における板壁の水平抵抗メカニズムに関する研究	共著	2016年7月	歴史都市防災論文集(Vol.10号)	須田達、鈴木祥之	23-30
階段を利用した伝統木造二重門の制震補強	共著	2016年7月	歴史都市防災論文集(Vol.10号)	向坊恭介、鈴木祥之	31-38
Structural mechanisms and deformability of major types of traditional timber joints in Japan	共著	2016年8月	CD-ROM Proceedings of the World Conference on Timber Engineering (WCTE 2016)	Hideaki Tanahashi and Yoshiyuki Suzuki	
Influence of penetrating tie beams visible from the front of wall on restoring force characteristics of mud-walls	共著	2016年8月	CD-ROM Proceedings of the World Conference on Timber Engineering (WCTE 2016)	Hiroyuki Nakaji, Yoshiyuki Suzuki	
Experimental study on the seismic behavior of wide-board walls in existing traditional wooden structures	共著	2016年8月	CD-ROM Proceedings of the World Conference on Timber Engineering (WCTE 2016)	Atsuo Takino, Yoshiyuki Suzuki	
Earthquake response analysis of traditional timber gate of Higashi-honganji temple based on 3D analytical model	共著	2016年8月	CD-ROM Proceedings of the World Conference on Timber Engineering (WCTE 2016)	Shinta Yoshitomi, Kyosuke Mukaibo, Hideaki Tanahashi, Yoshiyuki Suzuki	
Seismic reinforcement for traditional timber gate utilizing external stairs	共著	2016年8月	CD-ROM Proceedings of the World Conference on Timber Engineering (WCTE 2016)	Kyosuke Mukaibo, Hideaki Tanahashi, Shinta Yoshitomi, and Yoshiyuki Suzuki	
Development and application of seismic reinforcement design method for traditional wooden houses in heavy-snow regions by taking advantage of structural features	共著	2016年8月	CD-ROM Proceedings of the World Conference on Timber Engineering (WCTE 2016)	Eisuke Sato, Kyosuke Mukaibo and Yoshiyuki Suzuki	

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
Experimental study on lateral-load resistance mechanism of diagonal-crisscross reinforced lattice	共著	2016年8月	CD-ROM Proceedings of the World Conference on Timber Engineering (WCTE 2016)	Tatsuru Suda, Yusuke Nakamura, Hideaki Tanahashi and Yoshiyuki Suzuki	
Characteristics of biodegradation found in roof structure of wooden historical buildings	共著	2016年8月	CD-ROM Proceedings of the World Conference on Timber Engineering (WCTE 2016)	Yuko Fujiwara, Yoshihisa Fujii, Kyosuke Mukaibo and Yoshiyuki Suzuki	

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
繰り返し加力を受ける木材のめり込み復元力特性に関する実験的研究	共同	2016年6月	日本建築学会近畿支部研究報告集	白井悠吾、岩本いづみ、棚橋秀光、鈴木祥之
伝統木造仕口の繰り返しめり込みの復元力特性	共同	2016年8月	日本建築学会大会学術講演梗概集	大岡優、棚橋秀光、鈴木祥之
実大実験による顕し貫土壁の復元力特性評価その2竹小舞下地試験体での比較実験	共同	2016年8月	日本建築学会大会学術講演梗概集	中治弘行、鈴木祥之

その他研究活動				
研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間 (西暦可)	
講習会「伝統構法建築物の耐震設計・耐震補強設計～伝統構法の限界耐力計算を習得するための実務者講習会～」	共同	ちりめん街道内瀬本宅	2016年7月30日 ～2016年8月7日	
第22回復元力応用分科会講演会講演「伝統構法木造建築物の復元力特性と耐震性能」	単独	京都テルサ 東館2階 視聴覚研修室	2016年11月18日 ～2016年11月18日	

## 研究業績書

対象期間	2016年1月1日～2017年3月31日	
所属	職名	氏名
文学部	教授	高橋 学

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
環境史からみた災害	単著	2016年1月	都市問題 (107巻)	高橋学	1
シンポジウム「災害考古学の可能性を探る」の記録	共同	2016年	兵庫県立博物館 研究紀要 (9巻)	高橋学・森永速男・山下史朗・甲斐昭光・多賀茂治 (査読なし)	18-33
人はどこで死ぬかー災害発生のメカニズムからー	単著	2016年	兵庫県立博物館 研究紀要 (9巻)	高橋学	1-17
熊本地震は南海地震の前兆かもしれない	単著	2016年	現代ビジネス電子版	高橋学	1-2
熊本地震の次は南海トラフだ	単著	2016年	サンケイデジタル、電子版	高橋学	1-3
環境史からみた信長の時代Ⅰー桶狭間の戦いー	単著	2016年	立命館文学 (645巻)	高橋学	164-189
Earthquake, Tsunami and Flood Disasters in Prehistoric and Historic Eras	単著	2016年	国際考古学会議プロシーディングス (8巻)	TAKAHASHI Manabu	1-8

その他研究活動			
研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間 (西暦可)
記事掲載	単独	「現代ビジネス」	2016年4月16日
記事掲載	単独	「IWJ Office」	2016年4月17日
記事掲載	単独	「週刊現代」	2016年4月18日
記事掲載	単独	「週刊女性」	2016年4月19日
記事掲載	単独	「サンケイデジタル」	2016年4月20日
記事掲載	単独	「サンケイデジタル」	2016年4月20日
記事掲載	単独	「Japan Times」	2016年4月20日
記事掲載	単独	「日刊ゲンダイ」	2016年4月20日
記事掲載	単独	「女性セブン」	2016年4月21日
記事掲載	単独	「人民日報」	2016年4月22日
記事掲載	単独	「週刊文春」	2016年4月28日
記事掲載	単独	「日刊ゲンダイ」	2016年4月29日
記事掲載	単独	「日刊ゲンダイ」	2016年5月2日
記事掲載	単独	「IWJ Office」	2016年5月16日
記事掲載	単独	「週刊女性」	2016年5月16日
記事掲載	単独	「週刊ポスト」	2016年5月21日
記事掲載	単独	「週刊女性」	2016年5月23日
記事掲載	単独	「週刊フライデー」	2016年5月26日

その他研究活動			
研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間（西暦可）
記事掲載	単独	「IWJ Office」	2016年8月12日
記事掲載	単独	「IWJ Office」	2016年8月20日
記事掲載	単独	「週刊女性」	2016年8月30日
記事掲載	単独	「IWJ Office」	2016年10月10日
記事掲載	単独	「週刊女性」	2016年10月18日
記事掲載	単独	「京都民報」	2016年10月23日
記事掲載	単独	「IWJ Office」	2016年10月23日
記事掲載	単独	「日刊ゲンダイ」	2016年10月25日
記事掲載	単独	「日刊ゲンダイ」	2016年10月28日
記事掲載	単独	「週刊女性」	2016年10月25日
記事掲載	単独	「週刊女性」	2016年11月1日
記事掲載	単独	「週刊プレイボーイ」	2016年11月7日
記事掲載	単独	「週刊フライデー」	2016年11月18日
記事掲載	単独	「産経新聞」	2016年11月21日
記事掲載	単独	「JAPAN TIMES」	2016年11月22日
記事掲載	単独	「週刊女性」	2016年11月22日
記事掲載	単独	「週刊サンデー毎日」	2016年11月22日
記事掲載	単独	「週刊フライデー」	2016年11月25日
記事掲載	単独	「週刊女性」	2016年11月29日
記事掲載	単独	「週刊ナックルズ」	2016年11月30日
記事掲載	単独	「週刊プレイボーイ」	2016年12月5日
記事掲載	単独	「週刊フライデー」	2017年1月13日
記事掲載	単独	「週刊女性」	2017年1月17日
記事掲載	単独	「日刊ゲンダイ」	2017年1月18日
テレビ出演	単独	「ニュース」RKB 毎日放送	2016年4月19日
テレビ出演	単独	「東京 MX テレビ」	2016年4月21日
テレビ出演	単独	「スクランブル」フジテレビ	2016年4月21日
テレビ出演	単独	「ビートたけしのテレビタックル」 テレビ朝日	2016年4月24日
ラジオ出演	単独	「CBC ラジオ」	2016年4月20日
ラジオ出演	単独	「TBS ラジオ」	2016年4月20日

## 研究業績書

対象期間	2016年1月1日～2017年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部	准教授	武田 史朗

著書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	担当頁数
自然と対話する都市へ ーオランダの河川改修に学ぶー	単著	2016年4月	昭和堂		

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	担当頁数
道路連結性に基づく都市の歩行環境の分析手法の提案と京都を対象としたケーススタディ	共著	2016年11月	ランドスケープ研究（オンライン論文集）（9巻）	山口純・武田史朗	115-125

その他研究活動			
研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間（西暦可）
「壬生オアシスガーデン」における小規模自主管理広場の実験的運営管理	共同	「騒音気にせずラジオ体操～正面だけに音 超音波スピーカー～」京都新聞 夕刊：9月3日（水）8面A	2014年9月3日～
「壬生オアシスガーデン」における小規模自主管理広場の実験的運営管理	共同	「超音波スピーカーさらば騒音～住宅密集でものびのび体操～」2014年10月7日、朝日新聞（夕）10A	2014年10月7日～
「壬生オアシスガーデン」における小規模自主管理広場の実験的運営管理	単独	「壬生オアシスガーデンで遊ぼう」京都三条ラジオカフェ（NPO法人京都コミュニティ放送）の番組「まちづくりチョビット推進室」内のインタビュー	2014年12月20日～
福良港津波防災ステーション ランドスケープ（作品）	共同	造園作品選集 Vol.12（日本造園学会誌 増刊第77号），p26-27	2014年～
あまが池親水緑地	共同	造園作品選集 Vol.12（日本造園学会誌増刊第77号），p24-25	2014年～
立命館大学理工新棟トリシアおよびそのランドスケープ	共同	ランドスケープデザイン，マルモ出版，No.98，2014年8月，p30-31	2014年～
立命館大学大阪いばらきキャンパス計画およびランドスケープ	共同	ランドスケープデザイン，マルモ出版，No.98，2014年8月，p25-28	2014年～

受賞学術賞			
授与機関名	受賞名	タイトル	受賞年月（西暦可）
	第15回読者と選ぶ「建築と社会」賞・作品部門		2016年6月
一般社団法人ニューオフィス推進協会	日経ニューオフィス賞 関西ブロック賞		2016年8月
大阪府	第36回大阪都市景観建築賞審査員特別賞		2016年11月

## 研究業績書

対象期間	2016年1月1日～2017年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部	教授	塚口博司

著書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
交通システム (第2版)	共著	2016年4月	オーム社	塚口博司・塚本直幸・日野泰雄・内田敬・小川圭一・波床正敏	
Estimation of Passenger Flow for Planning and Management of Railway Stations	共著	2016年	WCTR, Shanghai	Yoongho Ahn, TomoyaKowada, Hiroshi Tsukaguchi, Upali Vandebona	

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
大規模歴史公園における歩行者サインシステムの改善による観光客の行動変化に関する研究	単著	2016年10月	日本都市計画学会 都市計画論文集 Vol.51 No.2	塚口博司	174-183
奈良公園における観光客の迷い行動に関する分析	共著	2016年	土木計画学研究・講演集、Vol.53	呉海姿・宮本聖・安隆浩・塚口博司	2243-2249
四条通歩道拡幅事業－人と公共交通優先の歩いて楽しいまちづくり－	共著	2016年	土木計画学研究・講演集、Vol.54	森藤淳・佐伯康介・塚口博司・山田忠志	1580-1585

## 研究業績書

対象期間	2016年1月1日～2017年3月31日	
所属	職名	氏名
政策科学部	准教授	豊田 祐輔

著書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
Simulation and Gaming in the Network Society	共編著	2016年8月	Springer Science Business Media	Kaneda Toshiyuki, Kanegae Hidehiko, Toyoda Yusuke and Rizzi Paola (Edi.)	

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
ピクトグラムの認識に関する調査とベイズの定理を用いた正しい避難に有用なワードの分析	共著	2016年7月	歴史都市防災論文集(10号)	石田優子、崔明姬、酒井宏平、豊田祐輔、鐘ヶ江秀彦、深川良一	167-174
Gaming Simulation with Action Learning for Community-based Disaster Reduction Training	単著	2016年	Action Learning Action Research Journal (22巻1号)	Toyoda Yusuke	forthcoming

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
Effects of Public Preparedness on Intentions to return Home of Tourists unable to Return Home after Earthquakes: In the Case of the World Cultural Heritage Site, Himeji Castle	共著	2016年6月	the 14th PRSCO (The Pacific Regional Science Conference Organization) Summer Institute	Toyoda Yusuke*, Sakai Kohei and Kimura Arisa
An Estimation Model of Regional Economic Damage due to Earthquake and Tsunami Disaster	共著	2016年6月	the 14th PRSCO (The Pacific Regional Science Conference Organization) Summer Institute	Cui Mingji*, Taniguchi Hitoshi, Toyoda Yusuke and Kanegae Hidehiko
A Study on Tourist' Awareness of Disaster Prevention toward Regional Disaster Prevention Plans Considering Tourists	共著	2016年6月	The 14th Pacific Regional Science Conference Organization Summer Institute Proceeding Book	Sakai Kohei*, Cui Mingji, Toyoda Yusuke and Kanegae Hidehiko
世界文化遺産・姫路城における地震発生後の帰宅困難観光客の帰宅意思に関する研究	共著	2016年9月	日本環境共生学会第19回(2016年度) 学術大会発表論文集	豊田祐輔*, 酒井宏平、木村麻里早
地域での防災活動ならびに防災訓練への参加意図に関する研究	単著	2016年10月	日本地域学会第53回年次大会学術発表論文集	豊田祐輔

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
A Study on Disaster Sport Festival for Passive Participants in Urban Areas	単著	2016年10月	Proceedings of 4th International Conference on Urban Disaster Reduction: Sustainable Disaster Recovery: Addressing Risks and Uncertainty	Toyoda Yusuke

その他研究活動				
研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間 (西暦可)	
楽しみながら正しく行う防災	単独	いばらきまちづくりラボ(いばラボ)	2015年12月12日 ～2016年2月20日	
防災(災害)に強いまちづくり～住民によるボトムアップ～	単独	『平成27年度 せっつ生涯学習大学院生涯学習リーダー養成講座①』撰津市	2016年1月7日	
「地域防災のこれからを見据えて」	単独	(京都市)新京極商店街振興組合『防災を考えるセミナー』新京極商店街内 WITHYOU、京都市	2016年1月22日	
立命館大学政策科学部でのPBLの取り組み	単独	『第2回PBL授業報告会』長崎大学水産・環境科学総合研究科	2016年2月17日	
防災まちづくりにみる生涯学習—アクションラーニングに着目して—	単独	『撰津市生涯学習合同研修会』撰津市	2016年2月22日	
世界文化遺産・姫路城における観光客の避難・帰宅システムの開発に関する研究	共同	平成26-27年度姫路市連携大学フィールドワーク支援事業	2016年2月	
地震津波災害を中心とした防災に関する共同調査と研究報告書	共同	平成27年度志摩市官学連携研究助成事業	2016年2月	
公益財団法人 科学技術融合振興財団 平成25年度(2013年度)調査研究助成 報告書 ゲーミング・シミュレーションによるレジリエントな都市の探求に関する研究	単独	科学技術融合振興財団	2016年2月	
防災まちづくりにおけるリスク・コミュニケーション手法としてのゲーミング・シミュレーション	単独	公益財団法人 地震予知総合研究振興会 東濃地震科学研究所『東濃地震科学研究所報告 地震防災分野—実践的地震防災教育・活動—(3)(平成27年度)』Sep. No.37、2016年3月、25-42頁.	2016年3月	
防災ことはじめ	単独	茨木青年会議所『「和がまち茨木」事前事業『寺子屋いばらき』、立命館大学大阪いばらきキャンパス	2016年4月17日	
防災運動会	共同	防災運動会：立命館大学大阪いばらきキャンパス；主催：立命館大学豊田ゼミ、茨木青年会議所、茨木市市民活動センター	2016年5月15日	
茨木の危機管理と防災	単独	茨木シニアカレッジ「いこいこ未来塾」(茨木シニアカレッジ)、茨木市福祉文化会館	2016年6月10日	
災害から命を守ろう	単独	茨木市『まちづくり塾(小・中学生コース)』、立命館大学大阪いばらきキャンパス、茨木市、大阪	2016年7月24日 ～2016年7月30日	

その他研究活動			
研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間（西暦可）
防災運動会	共同	防災運動会；立命館大学大阪いばらきキャンパス；主催：茨木市商業団体連合会、立命館大学政策科学部豊田ゼミ、『商店街×大学生！炊き出し試食会～チャレンジ・災害発生時に私たちができること～』	2016年9月17日
新しいカタチの防災活動と活かし方	単独	京都大学大学院工学研究科社会基盤工学専攻 災害リスクマネジメント工学（JR西日本）講座『第11回市民講座－災害リスクを考える－地震・津波災害に備える』、グランフロント大阪、大阪市、大阪	2016年10月1日
都市における災害：津波からの避難の課題	単独	公共政策インゼミ合宿実行委員会（京都大学公共政策大学院・立命館大学大学院公務研究科）『公共政策インゼミ合宿2016（防災分科会）』、立命館大学朱雀キャンパス、京都市、京都	2016年11月26日
事前復興と地図	単独	大阪土地家屋調査士会三島支部『地籍シンポジウム～正確な地図をつくり、資産を守ろう！』茨木市福祉文化会館、茨木市、大阪	2016年12月3日

## 研究業績書

対象期間	2016年1月1日～2017年3月31日	
所属	職名	氏名
文学部	教授	中谷 友樹

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月(西暦可)	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名	担当頁数
健康の社会格差と地域格差	共著	2016年1月	地理(61巻1号)	中谷友樹・埴淵知哉	51-57
Food accessibility and perception of shopping difficulty among elderly People living alone in Japan,2016:20(9):	共著	2016年		Ishikawa, M., Yokoyama, T., Nakaya, T., Fukuda, Y., Takemi, Y., Kusama, Y., Yoshiike, N., Nozue, M., Yoshiba, K., Murayama, N.	904-911
Suitable habitats for the establishment of Shorea curtisii seedlings in a primary hill forest in Malaysia,	共著	2016年	Journal of Tropical Forest Science 28 (Special Issue)	Yagihashshi T, Otani T, Nakaya T, Tani N, Sato T, Abd Rahman K & Niiyama K	353-358
“Eating together” is associated with food behaviors and demographic factors of older Japanese people who live alone.	共著	2016年	Journal of Nutrition, Health & Aging. 2016. (in press)	Ishikawa M, Takemi Y, Yokoyama T, Kusama K, Fukuda Y, Nakaya T, Nozue M, Yoshiike N, Yoshiba K, Hayashi F, Murayama N.	
Association between satisfaction with state of health and meals, physical condition and food diversity, health behavior, and perceptions of shopping difficulty among older people living alone in Japan.	共著	2016年	Journal of Nutrition, Health & Aging. 2016. (in press)	Ishikawa M, Yokoyama T, Takemi Y, Fukuda Y, Nakaya T, Kusama K, Yoshiike N, Nozue M, Yoshiba K, Murayama N.	
Prevalence of inadequate nutrient intake in Japanese community-dwelling older adults who live alone.	共著	2016年	Journal of Nutritional Science and Vitaminology. 2016. (in press)	Nozue M, Ishikawa M, Takemi Y, Kusama K, Fukuda Y, Yokoyama T, Nakaya T, Nishi N, Yoshiba K, Murayama N.	
近年の新聞報道からみた社寺における盗難と火災	共著	2016年	歴史都市防災論文集(10巻)	谷崎友紀・中谷友樹	67-74
Physical and social determinants of dietary variety among elderly living alone in Japan. (accepted).	共著		Geriatrics & Gerontology International,	Fukuda, Y., Ishikawa, M., Yokoyama, T., Hayashi, T., Nakaya, T., Takemi, Y., Kusama, K., Yoshiike, N., Nozue, M., Yoshiba, K., Murayama, N.	
犯罪予防に GIS を活かす	単著	2016年	地理(61巻4号)	中谷友樹	42-49
健康リスクの地域較差と居住地域の貧困	共著	2016年	貧困研究 16	中谷友樹・埴淵知也	5-16
大規模災害発生時の帰宅困難に関わる学生の認知距離	共著	2016年	立命館地理学 28	谷端郷・米島万有子・福田一史・中谷友樹・細井浩一	39-54
地域のウォーカービリティとソーシャル・キャピタル	共著	2016年	体育の科学, 66-11	埴淵知哉・中谷友樹	805-810

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
公園の配分における環境正義の分析客観的および認知的な近接性と地理的剥奪指標の関係	共著	2016年 3月21日	2016年日本地理学会春季学術大会 早稲田大学、東京	安本晋也・中谷友樹
公園の近接性における環境正義の健康格差への影響	共著	2016年 11月13日	2016年人文地理学会大会、京都大学、京都	安本晋也・中谷友樹
位置情報付き Tweet による蚊の発生に関する時空間分析	共著	2016年 10月15-16日	地理情報システム学会第25回研究発表大会、立正大学、東京	米島万有子・桐村 喬・安本晋也・中谷友樹
気候値を考慮した蚊媒介性感染症の流行リスクマップ	共著	2016年 10月15-16日	地理情報システム学会第25回研究発表大会、立正大学、東京	安本晋也・中谷友樹・米島万有子
GISを用いた食環境指標の可能性」シンポジウム「社会経済的要因と栄養・食生活	単著	2016年 10月26日	第75回日本公衆衛生学会総会、グランフロント大阪	中谷友樹
歴史都市防災研究所所蔵資料画像データベース	共著	2016年 10月15日	2016年度第4回歴史都市防災研究所定例研究会、キャンパスプラザ京都、京都	谷端郷・中谷友樹
近年の新聞報道からみた社寺における盗難と火災	共著	2016年 7月9日	歴史都市防災シンポジウム（立命館大学）	谷崎友紀・中谷友樹
Trends in areal socio-economic inequalities of mortality of all and main causes of death in Japan: 1995-2014	共著	2016年 6月21-24日	the 2016 Epidemiology Congress of the Americas, in Miami, US	Ito, Y., Fukui, K., Yonejima, M., Kondo, N. and Nakaya, T

その他研究活動			
研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間（西暦可）
基調講演 中谷友樹：健康な街と不健康な街：居住地域スケールの健康格差	単独	京都大学財政学研究会シンポジウム「健康と主観的厚生地域の地域差－地域・まちづくりの展望－」、京都大学吉田キャンパス	2016年12月4日

## 研究業績書

対象期間	2016年1月1日～2017年3月31日	
所属	職名	氏名
文学部	准教授	花岡 和聖

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
2013年台風ヨランダによる建物被害評価—フィリピン・サマル島バセイを対象として—	共著	2016年7月	日本建築学会計画系論文 文集(81巻725号)	村尾 修・薄田拓磨・杉安 和也・花岡和聖	1541- 1548
全国版の小地域マイクロデータの構築と 災害分析への活用—国勢調査・匿名デー タの利用—	単著	2016年11月	地域安全学会論文集 (29巻)	花岡和聖	247-255
Grasp of Disaster Situation and Support Need inside Affected Area with Social Sensing: An Analysis of Twitter Data before and after the 2011 Great East Japan Earthquake Disaster Occurring	共著	2016年3月	Journal of Disaster Research (11巻2号)	Sato, S., Hanaoka, K., Okumura, M. and Koshimura, S.	198-206
東日本大震災からの復興まちづくりと地 理情報システム—ジオデザインの紹介—	共著	2016年3月	情報処理(57巻3号)	花岡和聖・磯田弦・杉安和 也	203-233

## 研究業績書

対象期間	2016年1月1日～2017年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部	助教	林 倫子

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
宇治川水力発電事業第一期工事における風致対策の検討過程	単著	2016年6月	土木学会論文集D2(土木史)(72巻1号)	林倫子	53-67
愛知川右岸谷底低地の微高地に存在した畑地区の形態と立地に関する一考察	共著	2016年6月	土木史研究講演集(36巻)	林倫子, 金度源, 大窪健之	319-322
効率的なノズル開発に向けた散水挙動の理論的考察～延焼火災から歴史的な木造密集市街地を守る街路壁面散水設備(WSS)の開発～	共著	2016年7月	歴史都市防災論文集(10巻)	榎原拓大, 大窪健之, 金度源, 林倫子	91-98
歴史的な町並み保存のための建築規制緩和に対する災害対策の研究～神戸市北野町山本通重要伝統的建造物群保存地区を対象として～	共著	2016年7月	歴史都市防災論文集(10巻)	金度源, 大窪健之, 林倫子, 塩田一貴	129-137
阪神・淡路大震災における社寺の延焼抑止要因と避難地利用に関する調査研究～兵庫県神戸市の社寺を対象として～	共著	2016年7月	歴史都市防災論文集(10巻)	国島岳大, 大窪健之, 金度源, 林倫子	153-161

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
災害情報を即時共有する地域防災情報システムの機能拡張と地域特性に着目した配信方法の検討～与謝野町加悦重伝建地区を対象として～	共著	2016年7月	第10回歴史都市防災シンポジウム	大窪健之, 岩井渉, 金度源, 林倫子
2015年ゴルカ地震における伝統的中庭空間の避難時の利用実態～世界遺産カトマンズ・パタン地区を対象に～	共著	2016年7月	第10回歴史都市防災シンポジウム	高杉三四郎, 大窪健之, サキヤラタ, 金度源, 林倫子

その他研究活動			
研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間(西暦可)
水と生きるまち・伏見の再生計画案	共同	土木計画学研究発表会・講演集第35号, 第二回土木計画学公共政策デザインコンペ優秀賞受賞	2007年6月～
町並みのパズルピース～京都分散型駐輪システム～	共同	(財)京都市景観・まちづくりセンター主催 京都まちづくり学生コンペ2007記録集pp.24～25, 都市デザイン計画部門優秀賞受賞	2007年12月～
ニュータウンと野の風景の融合に関するデザイン提案～京都・洛西ニュータウンを対象として～	共同	第4回景観デザイン・研究発表会優秀ポスター賞受賞	2008年12月～

その他研究活動			
研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間（西暦可）
記憶をのこすまち 記録をなぞる街路	共同	景観開花 2011（未来へつなぐ街路デザイン）、佳作	2011年11月～
松重開門—優美な開塔に往時の運河網計画を想う—（見どころ土木遺産 91）	単独	土木学会誌, 97（2）	2012年2月～
堀川第一橋—石造円形アーチをくぐる楽しみ—（見どころ土木遺産 110）	単独	土木学会誌, 98（9）	2013年9月～
砂山池・龍ヶ池揚水機場—水不足の村を豊かな郷に—（見どころ土木遺産 133）	単独	土木学会誌, Vol.100, No.10	2015年10月～
京都鴨川の風景と祭り	単独	日本都市計画学会関西支部だより, No.30, pp.4-5	2016年3月～
知的好奇心に応える土木史研究を目指して（特集「土木史研究の今—強まる社会との関わり—」）	単独	土木学会誌, 101（4）, pp.34-35	2016年4月～

受賞学術賞			
授与機関名	受賞名	タイトル	受賞年月（西暦可）
公益社団法人土木学会土木史研究委員会	平成 28 年度土木学会土木史研究発表会優秀講演賞（一般）	愛知川右岸谷底低地の微高地に存在した畑地区の形態と立地に関する一考察	2016年6月

## 研究業績書

対象期間	2016年1月1日～2017年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部	教授	平尾 和洋

著書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
日本の建築意匠	共編	2016年12月	学芸出版社	平尾和洋, 青柳憲昌, 山本直彦	

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
歴史的風土特別保存地区における民家の屋敷構えに関する研究 明日香村の奥山・飛鳥・河原・野口・岡・島庄の六大字を事例として	共著	2016年3月	日本建築学会計画系論文集第81巻第721号(81巻721号)	山本直彦, 平尾和洋, 宮内杏里	675-685
朽木谷における茅葺民家の残存および防火意匠の現状調査	共著	2016年7月	歴史都市防災論文集(10号)	遠藤直久, 酒井理恵, 平尾和洋	83-90
五箇山相倉集落合掌民家の消火・防火性能の現状調査、歴史都市防災論文集	共著	2016年7月	歴史都市防災論文集(10号)	平尾和洋, 梶山雄大, 川村真弘	75-82
ルイス・カーンのキーワード連関に基づいたデザイン発想・設計ツールの作成とその有効性に関する研究	共著	2017年3月	日本建築学会計画系論文集	遠藤直久, 吉岡慶祐, 平尾和洋	掲載決定

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
五箇山相倉集落における消火性能及び防火意匠の考察	共著	2016年6月	日本建築学会北海道支部研究報告集	石川一平, 梶山雄大, 平尾和洋
ルイス・カーンのキーワード連関に基づいた設計支援ツールの改良と実務課題における有効性の検証	共著	2016年6月	日本建築学会近畿支部研究発表会計画系	藤関利光, 前原竹二, 遠藤直久, 平尾和洋
朽木谷河川流域茅葺民家の現状調査と諸特性分析その2—防火意匠の現状調査と今後の対策—	共著	2016年6月	日本建築学会近畿支部研究発表会計画系	遠藤直久, 酒井理恵, 平尾和洋, 青柳憲昌, 小西佐江
朽木谷河川流域茅葺民家の現状調査と諸特性分析その1—主屋規模の定量分析と妻入・平入分布域に関する考察—	共著	2016年6月	日本建築学会近畿支部研究発表会計画系	杉森大起, 酒井理恵, 遠藤直久, 平尾和洋, 青柳憲昌, 小西佐江
日本海側豪雪地帯における重要文化財指定民家の諸特性分析その2—梁間断面図からみる定量分析—	共著	2016年6月	日本建築学会近畿支部研究発表会計画系	川村真弘, 梶山雄大, 平尾和洋

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
日本海側豪雪地域における重要文化財指定民家の諸特性分析その1—展開断面図を用いた構造類型—	共著	2016年6月	日本建築学会近畿支部研究発表会計画系	平尾和洋, 梶山雄大
江戸時代末期から明治・大正時代にかけての高山町家の平面形式の変化	共著	2016年6月	日本建築学会近畿支部研究発表会計画系	山路ゆり, 青柳憲昌, 小西佐江, 平尾和洋
高山における町家(商家)の近代化の一側面—鍋島家住宅・長瀬家住宅の建築史調査報告—	共著	2016年6月	日本建築学会近畿支部研究発表会計画系	青柳憲昌, 山路ゆり, 平尾和洋
ルイス・カーンのキーワード連関に基づいた設計支援ツールの改良と実務課題における有効性の検証	共著	2016年8月	日本建築学会大会学術梗概集	佐藤峻亮, 前原竹二, 遠藤直久, 平尾和洋
朽木谷河川流域茅葺民家の現状調査と諸特性分析—妻入・平入分布域に関する考察—	共著	2016年8月	日本建築学会大会学術梗概集	小池潤, 酒井理恵, 平尾和洋
日本海側豪雪地域における民家の諸特性分析—展開断面図を用いた構造類型—	共著	2016年8月	日本建築学会大会学術梗概集	小林和敬, 梶山雄大, 平尾和洋

## 研究業績書

対象期間	2016年1月1日～2017年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部	教授	深川 良一

著書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
自然災害資料集（全7巻）	単著	2016年4月	クレス出版	深川良一編・解説	各巻末

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
平成23年度紀伊半島大水害の実態と教訓 - 「想定外」豪雨による地盤災害の軽減に向けた提言 -	単著	2016年4月	地盤工学会誌 (64巻4号)	深川良一	43-44
重要文化財周辺斜面における斜面災害復旧対策	共著	2016年7月	歴史都市防災論文集 (10巻)	宇次原雅之、深川良一、山田守、堀江直樹、梶間義弘、長谷部聖志	39-46
清水寺観測斜面における地上雨量とレーダ雨量との差異に関する一考察	共著	2016年7月	歴史都市防災論文集 (10巻)	檀上徹、藤本将光、石澤知浩、有光悠紀、深川良一	47-54
京都市東山地域における斜面崩壊の潜在的危険度評価	共著	2016年7月	歴史都市防災論文集 (10巻)	藤本将光、戸田堅一郎、有光悠紀、里深好文、深川良一	55-58
ヒストグラムの認識に関する調査とベイズの定理を用いた正しい非難に有用なワードの分析	共著	2016年7月	歴史都市防災論文集 (10巻)	石田優子、崔明姫、酒井宏平、豊田祐輔、鐘ヶ江秀彦、深川良一	167-174
平成23年度紀伊半島大水害の実態と教訓 - 「想定外」豪雨による地盤災害の軽減に向けた提言 -、7. 「想定外」豪雨による地盤災害への対応と教訓	共著	2016年9月	地盤工学会誌 (64巻9号)	深川良一、東原純	40-45
平成23年度紀伊半島大水害の実態と教訓 - 「想定外」豪雨による地盤災害の軽減に向けた提言 -、8. 講座を終えるにあたって	単著	2016年9月	地盤工学会誌 (64巻9号)	深川良一	46
加振後の盛土斜面における降雨による斜面崩壊に関する研究	共著	2016年11月	関西ジオシンポジウム 論文集 (8-7)	野中慎介、平岡伸隆、角宏一、藤本将光、深川良一	6

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
Geo-hazards due to Kumamoto Earthquake in April 2016	単著	2016年11月	Proc. of 2016 Taiwan Rock Engineering Symposium	Ryoichi Fukagawa

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
Required strength estimation of improved soil based on FEM sensitivity analyses	共著	2016年11月	Proc. of 2016 Taiwan Rock Engineering Symposium	Ayaka Oya, Satoru Iida, Takashi Yamamoto, Masamitsu Fujimoto and Ryoichi Fukagawa
Monitoring of slope stability at 86.9km point of Taiwan Alishan road reinforced by Soil Nailing Method	共著	2016年11月	Proc. of 2016 Taiwan Rock Engineering Symposium	Naoto Iwasa, Hiroshi Kokuryo, Li Derher, Hung Ming Lin, Ryoichi Fukagawa, Masamitsu Fujimoto and Kazunari Sako

知的財産権						
名称	出願人区分	発明人区分	出願番号	公開番号	登録(特許)番号	国
弾性体を利用した孔内載荷試験装置					特許第2571419号	

## 研究業績書

対象期間	2016年1月1日～2017年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部	准教授	福水 洋平

研究発表等				
発表題名	単著・ 共著の別	発行または 発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
ナンバープレート数字画像認識に適合した画素値選択型超解像	共著	2016年3月	電子情報通信学会2016総合大会	辻広生, 福水洋平, 道関隆国, 山内寛紀, 中瀬裕太, 吉川歩

## 研究業績書

対象期間	2016年1月1日～2017年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部	助教授	藤本 将光

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
京都市東山地域における斜面崩壊の潜在的危険度評価	共著	2016年7月	歴史都市防災論文集, Vol.10	藤本将光、戸田堅一郎、有光悠紀、里深好文、深川良一	55-58
清水寺観測斜面における地上雨量とレーザ雨量との差異に関する一考察	共著	2016年7月	歴史都市防災論文集, Vol.10	檀上徹、藤本将光、石澤友浩、有光悠紀、深川良一	47-54
清水寺周辺溪流における土石流氾濫解析	共著	2016年7月	歴史都市防災論文集, Vol.10	縄手洋介、梶山敦司、藤本将光、里深好文	59-66
Influence of antecedent precipitation on slope failures at the Yokogaki-toge pass	共著	2016年11月	International Journal of G E O M A T E, The Geomate International Society, Vol. 11, Issue 26	Ishida Y., Kibayashi T., Konegawa T., Fujimoto M. and R. Fukagawa,	2626- 2632
Characteristics of rain infiltration in soil layers on the hillslope behind important cultural asset	共著	2016年1月	International Journal of G E O M A T E, The Geomate International Society, Vol. 10, Issue 22	Arimitsu Y., Fujimoto M., Hiraoka N., Danjyo T., Ishida Y. and R. Fuykagawa	2109- 2115

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
重要文化財後背斜面における間隙水圧値を用いた斜面崩壊危険度予測の検討	共著	2016年5月	砂防学会研究発表	有光悠紀、藤本将光、檀上徹、平岡伸隆、石田優子、深川良一
山間部における雨量観測データの精度評価	共著	2016年5月	砂防学会研究発表	石田優子、木林幹、古根川竜夫、道広有理、藤本将光、深川良一
山間部の多点雨量計測における樹冠通過雨量と開空度との相関	共著	2016年9月	地盤工学会研究発表会	石田優子、奥田瞭太、木林幹、古根川竜夫、道広有理、藤本将光、深川良一

知的財産権						
名称	出願人区分	発明人区分	出願番号	公開番号	登録(特許)番号	国
土壌水量を用いた斜面崩壊危険度の簡易判定手法	本学共同		2015-102216			
透水試験装置および透水試験方法	本学共同		2013-193946			

## 研究業績書

対象期間	2016年1月1日～2017年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部	准教授	宗本 晋作

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
神戸の震災による環境変化に対する地域住民の景観認知について	共著	2016年2月	日本建築学会計画系論文集(81(720)巻)	北本英里子, 山田悟史, 宗本晋作, 大内宏友, 及川清昭	357-367
全方位緑視率を用いた緑地環境に対する印象評価推定モデル作成と検証－全方位緑視率と印象評価実験をもとにした自己組織化マップを用いて－	共著	2016年9月	日本建築学会計画系論文集(81(727)巻)	山田悟史, 藤井健史, 宗本晋作	2083-2093
ベイジアンネットワークを用いた緑視率に基づく緑環境評価の確率モデルに関する研究	共著	2016年11月	日本建築学会計画系論文集(81(729)巻)	宗本晋作, 山田悟史	2411-2419
緑ノビル	単著	2016年3月	日本建築学会 作品選集2016(131巻)	宗本晋作	176-177

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
総合病院の経路探索における可読性と視認性に基づく誘導サインの評価手法の研究－N病院の外来診療部を対象として－	共同報告	2016年6月	日本建築学会近畿支部研究発表会	竹中賢太, 宗本晋作, 河合慎介
ベイジアンネットワークを用いた学生向け賃貸マンションに対する選択行動に関する研究	共同報告	2016年8月	日本建築学会大会学術講演梗概集	宗本晋作, 山田悟史
ZEH＋水－水と暮らしの重ね箱－その1：計画趣旨と空間構成	共同報告	2016年8月	日本建築学会大会学術講演梗概集	上坂僚, 近本智行, 宗本晋作他
ZEH＋水－水と暮らしの重ね箱－その2：導入した技術と住宅の展開	共同報告	2016年8月	日本建築学会大会学術講演梗概集	五明遼平, 近本智行, 宗本晋作他
FirstResponder 育成及びByStanderのFirstAidに対するSelf-Efficacy向上の有効性の検証とAED配置に関する試行	共同報告	2016年8月	日本建築学会大会学術講演梗概集	山田悟史, 遠藤伸太郎, 宗本晋作, 小峯力

## 研究業績書

対象期間	2016年4月1日～2017年3月31日	
所属	職名	氏名
文学部	教授	矢野 桂司

著書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
市民参加型 GIS による祭礼景観の復原—昭和30年以前の京都祇園祭の山鉾行事における松原通一	共著	2017年3月	若林芳樹編『参加型 GIS の理論・技術・応用』、古今書院	矢野桂司・佐藤弘隆・河角直美	
ジオデザインにおける市民参加の可能性	単著	2017年3月	若林芳樹編『参加型 GIS の理論・技術・応用』、古今書院	矢野桂司	

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
WebGIS-based Application for Comparing Folding Screens of Rakuchū rakugai-zu (Scenes in and around Kyoto) with Maps.	共著	2016年4月	International Cartographic Association: Commission on Cartographic Heritage into the Digital jointly with the 20th Conference of the Map & Geoinformation Curators Group	Keiji Yano, Masanori Yamaji, Satoshi Imamura, Masao Kawashima, Kota Okukubo, and Tsuyoshi Nishiyama
Virtual Kyoto: Perspectives on Historical GIS and spatial humanities	単著	2016年5月	2016 International Seminar on the Making of Historical Atlas: Historical Atlas - Its concepts and methodologies	Keiji Yano
Historical GIS and spatial humanities based on Virtual Kyoto	単著	2016年6月	CASA Lunch Time Seminar	Keiji Yano
Historical GIS and spatial humanities based on Virtual Kyoto	単著	2016年6月	CASA Lunch Time Seminar	Keiji Yano
英国の Postcode から何が分かるか? — 地理空間情報活用の最前線	単著	2016年6月	第3回立命館セミナー・シリーズ	矢野桂司
Virtual Kyoto based on Digital Humanities	単著	2016年8月	International Geographical Congress 2016.K34: VGE as a Key Component of Geographic Knowledge Engineering, China	Keiji Yano
すまいに関する意識調査に基づく住宅の耐震化普及啓発の一考察—既存建築物の長寿命化を目的とした支援制度に関する研究(その2)—	共著	2016年8月	2016年度日本建築学会大会建築社会システム	河野学・生川慶一郎・矢野桂司
Historical GIS and Digital Humanities based on Virtual Kyoto	単著	2016年9月	HARVARD JAPAN EVENTS Fall 2016	Keiji Yano
地価分布状況に対応した固定資産税路線価検証のための自然分類手法の提案	共著	2016年10月	第25回学術研究発表大会	青木和人・武田幸司・矢野桂司・中谷友樹

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
墓石色境からみる分類手法の検討	共著	2016年10月	第25回学術研究発表大会	武田幸司・青木和人・矢野桂司・中谷友樹
居住者属性から見た近隣生活施設へのアクセシビリティ格差—ジオデモグラフィクスを活用した小地域分析	共著	2016年11月	2016年人文地理学会大会 研究発表要旨 pp.58-59	上杉昌也・矢野桂司
現場教員のための地図/GIS研修の産官学連携による支援活動	単著	2016年12月	日本学術会議公開シンポジウム「高等学校地理総合(仮称)必修化による地理教育への社会的期待と課題—現場の地理歴史科教員を支援するために日本学術会議は何ができるか—」	矢野桂司

## 研究業績書

対象期間	2016年1月1日～2017年3月31日	
所属	職名	氏名
文学部	教授	山崎 有恒

研究発表等				
発表題名	単著・ 共著の別	発行または 発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
近代日本の植民地における災害と防災について	単独	2016年3月	立命館大学歴史都市防災研究所 定例研究会	山崎有恒

### 研究業績書

対象期間	2016 年 1 月 1 日～ 2017 年 3 月 31 日	
所属	職名	氏名
文学部	教授	吉越 昭久

著書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	担当頁数
土地利用でみるアジアの都市化と自然環境	分担執筆	2016 年 3 月	筑波大学出版会	山下亜紀郎編著	11-18, 111-131

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	担当頁数
都市の発展と水環境問題の変化	単著	2016 年 3 月	山下亜紀郎編著『土地利用でみるアジアの都市化と自然環境』筑波大学出版会	吉越昭久	1-18, 111-131
書評 池田碩『1995.1.17 大地震と六甲山地』	単著	2017 年 3 月	国土交通省近畿地方整備局六甲砂防事務所「京都歴史災害研究」第 18 号	吉越昭久	

## 研究業績書

対象期間	2016年1月1日～2017年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部	教授	吉富 信太

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
高山伝統構法木造建築物の3次元地震応答解析による積雪荷重の影響		2016年7月	歴史都市防災論文集 (10巻)	村田晶・清水一史・吉富信太・向坊恭介	1-8
EARTHQUAKE RESPONSE ANALYSIS OF TRADITIONAL TIMBER GATE OF HIGASHI-HONGANJI TEMPLE BASED ON 3D ANALYTICAL MODEL		2016年	Proceedings of the World Conference on Timber Engineering (WCTE 2016)	Shinta Yoshitomi, Kyosuke Mukaibo, Hideaki Tanahashi, Yoshiyuki Suzuki	
Seismic reinforcement for traditional timber gate utilizing external stairs		2016年	Proceedings of the World Conference on Timber Engineering (WCTE 2016)	Kyosuke MUKAIBO, Hideaki TANAHASHI, Shinta YOSHITOMI, and Yoshiyuki SUZUKI	
高山市伝統木造軸組構法建物における柱脚特性を考慮した全体架構モデルの応答解析		2016年	歴史都市防災論文集 (10巻)	吉富信太・河村拓実・村田晶・向坊恭介	9-14
木造建物を想定した柔床多層多構面モデルのシステム同定法		2016年	日本建築学会学術講演梗概集	新谷謙一郎・吉富信太	969-970
偏心立体骨組の縮約モデルを用いた時刻歴応答解析における省力自由度応答の復元法		2016年	日本建築学会学術講演梗概集	明野真大・吉富信太	969-970
地盤-建物系3次元有限要素モデルを用いた隣接建物群の動的相互作用に関する検討		2016年	日本建築学会学術講演梗概集	山下裕大・吉富信太	969-970
地盤及び基礎構造の影響を考慮した高層建物のシステム同定法		2016年	日本建築学会学術講演梗概集	横山遼・吉富信太	969-970

## 研究業績書

対象期間	2016年1月1日～2017年3月31日	
所属	職名	氏名
総合科学技術研究機構	専門研究員	石田 優子

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
STUDY ON INCLINATION OF PRANG AT AYUTTHAYA, THAILAND	共著	2016年3月	Proceedings of the 6th Vietnam/Japan Joint Seminar on Geohazards and Environmental Issues	Y. Ishida, S. Chijiwa, A. Oya, C. Denpaiboon, D. Rinchumphu, Y. Toyota, H. Kanegae, M. Fujimoto and Ryoichi fukagawa	2-5
CHARACTERISTICS OF RAIN INFILTRATION IN SOIL LAYERS ON THE HILLSLOPE BEHIND IMPORTANT CULTURAL ASSET	共著	2016年6月	International Journal of GEOMATE (Vol.10)	Yuuki Arimitsu, Masamitsu Fujimoto, Nobutaka Hiraoka, Toru Danjo, Yuko Ishida and Ryoichi Fukagawa	2109-2115
ユニバーサルサインの認識に関する調査とベイズの定理を用いた正しい避難に有用なワードの分析	共著	2016年7月	立命館大学歴史都市防災研究所、歴史都市防災論文集（10巻）	石田優子, 崔明姫, 酒井宏平, 豊田祐輔, 鐘ヶ江秀彦, 深川良一	167-174
INFLUENCE OF ANTECEDENT PRECIPITATION ON SLOPE FAILURES AT THE YOKOGAKI-TOGE PASS	共著	2016年10月	International Journal of GEOMATE (Vol.11)	Yuko Ishida, Tsuyoshi Kibayashi, Tatsuo Konegawa, Masamitsu Fujimoto and Ryoichi Fukagawa	2626-2632
平成23年台風12号により和歌山県東牟婁地域で発生した土砂災害の地理的特性	共著	2016年11月	地盤工学会関西支部、Kansai Geo-Symposium 2016 論文集	中村誠, 田内裕人, 江種伸之, 藤井翔太郎, 石田優子, 後誠介	37-42

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
山間部における雨量観測データの精度評価	共著	2016年5月	平成28年度（公社）砂防学会研究発表会	石田優子
ユニバーサルサインの認識に関する調査とベイズの定理を用いた正しい避難に有用なワードの分析	共著	2016年7月	第10回歴史都市防災シンポジウム	石田優子
山間部の多点雨量計測における樹冠通過雨量と開空度との相関	共著	2016年9月	第51回地盤工学研究発表会	石田優子
現地計測結果に基づく地盤内浸透と地下水位変動特性に関する一考察	共著	2016年9月	第51回地盤工学研究発表会	檀上徹
平成23年台風12号により和歌山県東牟婁地域で発生した土砂災害の地理的特性	共著	2016年11月	Kansai Geo-Symposium2016	中村誠

その他研究活動			
研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間（西暦可）
（委員）公益社団法人地盤工学会関西支部 斜面動態モニタリングに基づく斜面安定性評価研究 委員会	共同		2015年4月 ～2018年3月
（委員）公益社団法人地盤工学会関西支部 関西の地盤情報に基づく防災ハザードマップ開発研 究委員会	共同		2016年4月 ～2019年3月

## 研究業績書

対象期間	2016年1月1日～2017年3月31日	
所属	職名	氏名
衣笠総合研究機構	専門研究員	崔明姫

著書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
A Simulation of Economic Loss Impact and Recovery: A Case Study of Shima City Assuming Nankai Trough Earthquake	共著	2016年8月	Springer Science Business Media	Mingji Cui, Hitoshi Taniguchi, Yusuke Toyoda and Hidehiko Kanegae (Authors) Kaneda Toshiyuki, Kanegae Hidehiko, Toyoda Yusuke and Rizzi Paola (Editors)	339-353

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
南海トラフ地震を想定した経済的被害の推計方法に関する研究	共著	2016年3月	計測自動制御学会システム・情報部門，第10回社会システム部会研究会	崔明姫、谷口仁士、豊田祐輔、鐘ヶ江秀彦
Effect of Disaster Information on Tourist Areas	共著	2016年5月	36th Annual Conference of the International Association for Impact Assessment	Kohei Sakai, Mingji Cui, Yusuke Toyoda, Hidehiko Kanegae
An Estimation Model of Regional Economic Damage Due to Earthquake & Tsunami Disaster	共著	2016年6月	The Pacific Regional Science Conference Organisation (PRSCO) 2016	Mingji Cui, Hitoshi Taniguchi, Yusuke Toyoda and Hidehiko Kanegae
A Study on Tourists' Awareness of Disaster Prevention Toward Regional Disaster Prevention Plans Considering Tourists	共著	2016年6月	The Pacific Regional Science Conference Organisation (PRSCO) 2016	Kohei Sakai, Mingji Cui, Yusuke Toyoda, Hidehiko Kanegae
過去の被害事例に基づく歴史観光都市の経済的影響の定量評価分析	共著	2016年10月	日本地域学会第53回年次大会	崔明姫、豊田祐輔、鐘ヶ江秀彦
Analysis on Tourists' Behavior in Historic City after Disaster	共著	2016年10月	The 4th International Conference on Urban Disaster Reduction: Sustainable Disaster Recovery: Addressing Risks and Uncertainty	Mingji Cui, Yusuke Toyoda and Hidehiko Kanegae

その他研究活動			
研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間（西暦可）
Lecture: Economic Impacts of Earthquake Disaster, 13th Collaborative Workshop on Policy Formation for Urban Development and Conservation of Historical and Cultural Areas in Kyoto, the College of Policy Science of Ritsumeikan University and the Faculty of Architecture and Urban Planning of Thammasat University	単独	立命館大学・大阪茨木キャンパス	2016年12月

## 研究業績書

対象期間	2016年1月1日～2017年3月31日	
所属	職名	氏名
衣笠総合研究機構	専門研究員	谷端 郷

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	担当頁数
大規模災害発生時の帰宅判断に関わる学生の認知距離	共著	2016年11月	立命館地理学 28	谷端郷・米島万有子・福田一史・中谷友樹・細井浩一	39-54
マップコンテストによる子どもの防災・防犯教育への取り組みの成果と課題―「第10回夏休みにみんなでつくる地域の安全安心マップコンテスト」の事業報告―	共著	2017年3月 (予定)	京都歴史災害研究 18	谷端郷・崔明姫・石田優子・金度源	

研究発表等					
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名	
大規模災害時の帰宅判断に関わる学生の認知距離	共著	2016年3月	2016年日本地理学会春季学術大会	谷端郷・米島万有子・福田一史・中谷友樹・細井浩一	
昭和戦前期神戸における阪神大水害と都市化	単著	2016年5月	人文地理学会第142回歴史地理研究部会	谷端郷	
熊本地震・緊急現地調査報告	共著	2016年6月	熊本地震被災地緊急調査報告会 (都市防災工学Iと合併開講)	大窪健之・伊津野和行・深川良一・吉富信太・武田史朗・金度源・石田優子・崔明姫・谷端郷	
熊本地震・緊急現地調査報告	共著	2016年6月	2016年度第3回歴史都市防災研究所定例研究会	大窪健之・伊津野和行・深川良一・吉富信太・武田史朗・金度源・石田優子・崔明姫・谷端郷	
津波の教訓を伝える地名の行方―『岩手沿岸古地名考』の追跡調査―	共著	2016年10月	2016年日本地理学会秋季学術大会	谷端郷・村中亮夫・塚本章宏・花岡和聖・磯田弦	
歴史都市防災研究所所蔵資料画像データベース	共著	2016年10月	2016年度第4回歴史都市防災研究所定例研究会	谷端郷・中谷友樹	
1938年阪神大水害における神戸市の復旧・復興過程の地域差	単著	2016年11月	立命館大学大学院文学研究科地理学専修大学院ゼミ	谷端郷	
昭和戦前期における水害の地域的特徴―道府県別の水害に関する統計の分析―	単著	2017年3月 (予定)	2017年日本地理学会春季学術大会	谷端郷	
オデザインによる京都市与謝野町の将来計画	共著	2017年3月 (予定)	2017年日本地理学会春季学術大会	谷端郷・矢野桂司・中谷友樹・花岡和聖	

